

来年6月にも工事着手

中種子町統合中学校建設

校舎 RC造3階建4300㎡

熊毛郡中種子町は、町内4中学校を合わせた統合中学校の建設を計画。14年2月末までを期限とする実施設計を品中設計に委託している。建物規模は校舎RC造3階建延べ4300平方メートル、武道館RC造2階建延べ540平方メートル。町は14年6月にも工事着手、15年秋頃までに新校舎を完成させ、16年4月の開校を目指す。

15年11月頃に完成予定

統合中学校は野間、増田、校敷地内。16年度の生徒数は星原、南界の4中学校を含め343人を見込んでいます。町は14年度、プロボザール方式で基本設計を品中設計に委託、13年度は引き続いで実施設計を同社で行っている。14年6月頃に建築工事に着手、15年11月頃に新校舎を完成させ、同時期から野間中学校舎を3カ月程度で取り壊す予定だ。

第1回財政改革プログラム調査会

5カ年目標期間等を説明

骨子のポイントや基本方針も

第1回財政改革プログラム調査会は12日、鹿児島市の議会庁舎で開き、骨子のポイントや基本方針、財政改革の目標などの説明が行われ、14年度からの3カ年を集中改革期間とし、毎年県単公共事業を10%削減するなど、具体的説明が行われた。

調査会の冒頭、須賀龍郎県知事が財政改革プログラムの骨子のポイントについて、18年度までの5カ年を財政改革計画期間と位置づけ、3カ年は集中改革期間として取り組むことを基本方針と説明。県単公共事業の削減では限られた財源の効率的な活用が鍵から、優先度による差別と重点化を一層推進するほか、14年度からの3カ年を集中改革期間とし、毎年10%削減、大規模施設の整備の見直しなども行うことを付け加えた。

県建設業協組・同連合会 新理事長・会長に田代氏

建設会館代表取締役も



田代新理事長

県建設業協同組合・同連合会は12日、鹿児島市の県建設センターで役員会を開き、先に理事長・会長代行を務めていた田代勝夫専務理事・副会長を正式に理事長・会長に選任した。任期は14年度の通常総会まで。田代氏は72歳。県田代組代表取締役、県建設業協会副会長、川内支部長の要職にある。また、鹿児島県建設会館の代表取締役も務めることになる。

県、上屋久町一湊漁港埋立を申請 C護岸を新たに築造

136.4㎡、今秋にも着工

県はこのほど、熊毛郡上屋久町の一湊漁港の埋め立て免許を申請した。面積は1062平方メートル。新たにC護岸136.4㎡を築造する。今秋にも着手し、14年3月までに完成させる見込みだ。

埋め立ての場所は、同町一湊番屋831・10の地先公有水面。C護岸は1工区89・9㎡、2工区46・5㎡に分けて建設される。埋め立て土量は1625立方メートル。豪雨により発生した被害の査定額は、農地39億円、農業用施設89億円、林道33億円で、これらの災害復旧事業に対して、国庫補助のかさ上げを実施。また、国庫補助がさ上げの適用を受けない小災害の復旧事業費に充てる地方債の元利償還金を基準財政需要額に参入する措置も行う。

梅雨前線被害が 激甚災害指定

被害査定総額161億円

5月末から7月にかけての梅雨前線による豪雨で発生した災害を激甚災害に指定する内閣府の政令が11日に閣議決定した。14日に施行する。

梅雨前線被害が激甚災害指定
被害査定総額161億円
5月末から7月にかけての梅雨前線による豪雨で発生した災害を激甚災害に指定する内閣府の政令が11日に閣議決定した。14日に施行する。

ISO 9002 認証取得

昭和40年5月の創業以来、地域の皆様方には36年の水災にわたり、ご指導、御協力を賜り誠に有難うございます。当社の経営理念として引き継がれてきております“地域の発展は公共事業なし、村の人々は皆顧客である”の理念により、今年度のISO9002品質システム構築に当たり下記の品質方針を制定しました。この品質方針を軸にこれからも“地域と共に発展する企業”を目標に日々精進する所存であります。今後益々御協力ご指導の程宜しくお願い致します。

代表取締役 純清 善喜

品質方針

『自然と調和した人に優しい環境を創造し安全・管理する会社として確かな技術を提供し、お客様に信頼・安心・満足を提供いたします。』

適用範囲

土木構造物の施工及び付帯サービス



株式会社 塩田建設

本社/薩摩郡里村里1930番地
TEL(09969)3-2336 FAX(09969)3-2300
E-mail: sosyu@aioros.ocn.ne.jp